

音楽表現の共通性や固有性について考え
音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる生徒の育成
—日本の伝統音楽と世界の諸民族の音楽の
比較鑑賞を取り入れた授業プランの作成と活用を通して—

—研究構想図—

長期研修員 町田 美紀

音楽表現の共通性や固有性について考え
音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる生徒



複
数
の
音
楽
を
比
較
し
な
が
ら
聴
く

「まとめる」過程



世界の音楽にはそれぞれのよさがあるね。もっと聴きたいな。

伝える

♪音楽を自分なりに評価し、他者に伝える

「追求する」過程



この音楽のおすすめは…

探る

♪音楽を形づくっている要素を手がかりに
音楽の特徴や雰囲気を探る
♪音楽の背景となる文化や歴史を探る

音色は似ているね。

拍子は違うよ。



地域は関係するの？

「つかむ」過程

気付く

♪音や音楽の疑問点や不思議に気付く
♪音楽から喚起される
イメージや感情に気付く

日本の音楽と似ているのはなぜ？

比較鑑賞を取り入れた授業プラン

第1学年

日本とアジアの
語り物音楽

第2学年

日本と世界の
楽器の音楽

第3学年

日本と世界の
総合芸術



生徒の実態

世界の諸民族の音楽に触れる機会が少なく、様々な国やジャンルの音楽に対する興味・関心が薄い

教師の願い

様々な国やジャンルの音楽に興味・関心をもち、音楽を味わって聴いてもらいたい

比較鑑賞授業プランに基づいた授業実践

第1学年「日本とアジアの語り物音楽を聴こう」

【日本】義太夫節

【韓国】パンソリ

つかむ

♪音楽に対する疑問点に気付く活動

1曲目：国名〔日本〕
・言葉の最後をのばすところがあり、三味線だけで音楽を演奏しているところが昔の日本っぽかった。
・最後のところのセリフが、歌舞伎の感じに聴こえた。
・三味線の音が速いのが特徴。

2曲目：国名〔韓国〕
・太鼓がリズムを刻んでいるように感じた。
・急に声が小さくなったり、大きくなったり、少し日本と似ていた。(言葉をのばすところ、ビブラート)
・最後が語りかけているように感じた。



それぞれの音楽を聴いて、どこの国の音楽だと思いましたか？

日本の音楽にも似ている感じがするよ。でも、何だか雰囲気が違う感じがするな。なぜだろう…



※「語り物音楽」を比較鑑賞した様子

使用楽曲：【日本】義太夫節「新版歌祭文」から「野崎村の段」 【韓国】パンソリ「興甫歌(フンボガ)」

気付く

追求する

♪音楽の特徴や雰囲気を調べる活動

音楽の種類	義太夫節	パンソリ
音色	・声ふるえている ・三味線の音(弦楽器) ・のびている声、力強い声	・声ふるえている ・太鼓の音(打楽器) ・力強い声、巻き舌みたい
リズム	・はずんでいる ・三味線と声のリズムが違う ・2拍子	・9拍くらい空けている ・3拍子 ・一定のリズム



音楽の雰囲気が違うと感じるのは、どうしてだと思いますか？

雰囲気が違うのは、音色やリズムが関係しているね。その地域の生活や文化からも影響されるんだね。

調べる

♪紹介文を作成し、伝え合う活動

義太夫節の歌い方が好きだけど、パンソリの声をもう一度聴きたいな。



義太夫節は、三味線のいい音と太夫がよく合わせているところがすごいと思いました。

パンソリの音楽の特徴は、太鼓の音に合わせて女の人が声を震わせて歌っているところです。

伝える

まとめる

一題材を通しての振り返り

最初は「曲の雰囲気が似ているな」と思ったけど、音色やリズムを意識しながら繰り返し聴くと、それぞれの音楽の特徴がよく分かりました。また、友達と話し合うことで、自分では気が付かなかった音楽の特徴も知ることができました。他の国の語り物音楽を聴いたり調べたりしたいです。

成果(○)と課題(●)

○鑑賞領域の学習において比較鑑賞を取り入れたことで、音楽表現の共通性や固有性を捉えやすくなり、生徒が音楽のよさや美しさを十分に味わって聴くことができた。

●興味・関心を高めるためには、選曲や聴取する順番や場面など、複数の音楽の聴かせ方を工夫する必要がある。

提言

世界の諸民族の音楽を知ること、我が国や郷土の伝統音楽に対する理解を深めることにつながります。生徒が様々な音楽文化に触れることで、音楽の多様性を感じ取り、音楽に対する価値観や視野を広げられるようにしましょう。

